

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和5年5月31日

学校名 福井市西藤島小学校

校長氏名 石丸 真由美

1 今年度の目標(学校の約束)

- ①学校の物、自分や友だちの持ち物を大切にします。
- ②学校での節電・節水に努めます。
- ③リサイクル活動を推進します。

2 取組内容

①物を大切に

- ・資源には限りがあり、大切に使用することで資源を長く有効に使えることを理解する。自分の持ち物には必ず名前を書く。

②節電・節水

- ・電気(消灯)係を順番に担当することで、節電に対する意識を持たせる。エネルギーや節約の大切さを知り、節水にも進んで取り組む。

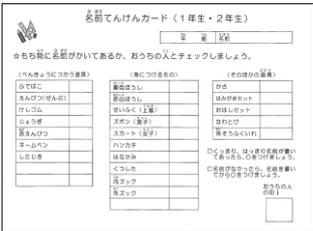
③リサイクル

- ・不要になった物を再利用し、有効に使う力を身につける。
- ・ペットボトルのキャップの回収をする。

★ ESDポイント(取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。)

①の「物を大切に」では、コミュニケーションの大切さを感じ取ったり、他者の活動に共感したりしながら、児童同士のつながりを意識させる。自分の持ち物には必ず名前を書き、大切に使うという普段の行いが、限りある資源を大切にしているということに気づかせる。
(他者と協力し、つながりを尊重する態度)

福井市学校版環境ISO 実施報告書

<p>学校名</p> <h1 style="text-align: center;">西藤島小学校</h1>	
<p>1 今年度の目標（学校の約束）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 学校の物、自分や友だちの持ち物を大切にします。 ② 学校での節電・節水に努めます。 ③ リサイクル活動を推進します。 	
<p>2 取組内容</p> <p>① 物を大切に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 秋季休業中に各自、持ち物の記名チェックを行った。記名されていることで、万一落としても手元に戻ることが分かり、物を大切にしている意識を深めることができた。 ・ 愛S0委員会で、掃除の片付けについての放送をし、掃除道具を大切に使い、整理整頓するように全校に呼びかけた。 <p>② 節電・節水</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 愛S0委員会で、トイレや教室の節電を呼びかける動画を放送で流したり、掲示物を貼ったりしてこまめに電気を消すように全校に呼びかけた。 <p>③ リサイクル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キャラクターの形をした回収ボックスを使い、エコキャップを集めた。児童がリサイクルに興味をもてるように、集めたエコキャップがどうなるのかを調べ、愛S0委員会で紹介した。 	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: flex-end;"> <div data-bbox="1161 689 1474 920">  </div> <div data-bbox="1193 949 1458 1249">  </div> </div>
<p>★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）</p> <p>①の「物を大切に」では、友だち同士で記名されているかどうかの確認をした。それによって、一人では記名が不十分だったところに気づくことができた。自分の物には必ず名前を書き、大切に使うという普段の行いが、限りある資源を大切にしているということに気づくことができた。（他者と協力し、つながりを尊重する態度）</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3 見直し</p>	<p>【具体的効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ①友だち同士で記名チェックすることにより、物を大切にするという児童の意識を高めることができた。 ・ ②③委員会活動を通じて全校に呼びかけることにより、児童一人ひとりが意識してエコ活動に取り組むことができた。 <p>【改善点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全校への呼びかけやチェックを定期的に行い、環境に対する意識を継続できるようにする。 ・ 愛S0委員会での活動について、児童と教師がともに考えながら、よりよい活動になるように進めていく。